

2021年(令和3年)

6月10日(木)

テニス男子団体 インターハイ予選

海星学院 全道V



全道の頂点に立ちガツポーズを決める（写真奥左から時計回りに）
小笠原陸、松田空、池田蓮、鈴木央祐、桜田陽、窪田光佑＝花咲スポーツ公園テニスコート

胆振勢初、全国出場

【旭川】高校テニスの室蘭・海星学院は9日、花咲スポーツ公園テニスコートで行われた全国高校総合体育大会（インターハイ）予選の北海道選手権大会で男子団体戦を制した。61回を数える同大会で、胆振勢が優勝したのは初の快挙。8月1日に長野県で開幕するインターハイに出場する。同校は2003年（平成15年）に女子校だつた聖ベネディクト女子が共学となり、校名を変更した。

（野田篤志）=12面に関連記事

試合はシングルス2本、ダブルス1本の2本先取制。まずシングルス1で小笠原陸（3年）が6ー0のストレートで勝つと、次のダブルスは2年生コンビの池田蓮・松田空組がゲームカウント0ー1から追い付

た。

準決勝までの4試合全てストレートで勝ち進んだ海星学院は、決勝で札幌支部代表の札幌光星と対戦した。

各支部大会には計96チームがエントリーし、勝ち上がりが24チームが今大会に出席。海星学院は、支部予選から1本も落とさない完優勝だったが満足はしていない。目指すは全国制覇